

## 県政報告

県議会で議題となった課題について、市原の目線からご報告いたします。

# 県への要望により県道茂原市栗生野交差点にガードレール110mの設置が実現しました！

八街市の事故を受け通学路の緊急点検が進められる中、地域のご要望にお答えして行きます！



### 録画視聴ができます

本会議での質問の様子は、  
県議会のウェブサイトで録画視聴が可能です。  
<https://www.gikaityukei.pref.chiba.lg.jp>



### 市原あつし事務所

TEL 0475-36-7775

〒297-0022 千葉県茂原市町保7  
info@ichihara-atsushi.jp

市原あつし公式WEBサイト

<https://www.ichihara-atsushi.jp>

市原あつし で 検索



Facebook

市原あつし

で 友達検索



千葉県議会議員

# 市原あつし 県政レポート

[ vol.008 ]

□ ごあいさつ □ トピックス □ 議会報告 □ 県政報告

## ごあいさつ

春風も心地よい季節になってまいりました。新しい年度を迎え環境変化の多い季節です。皆様にとって良い年度になりますよう心よりお祈り申し上げます。

千葉県議会においては、2月定例県議会が開催され、総額2兆1,772億6,500万円に上る2022年度予算案や108議案を可決・同意し閉会しました。私も一般質問に登壇し県全域の課題そして地元茂原市の懸案事項に関して質問しました。続いて予算委員会、常任委員会においてもより深掘りして質問を行いました。引き続き千葉県そして茂原市のために活動させていただきます。



## TOPICS

# 2月定例議会 一般質問に登壇！

令和4年2月定例県議会において登壇しました。また予算委員会、常任委員会質疑に関してまとめレポートを作成いたしました。



## 議会報告

2月の本会議・議会での質疑内容を、一部抜粋してご報告いたします。

### 医師確保について

茂原市を含む山武長生夷隅医療圏は、全国の335の二次医療圏の中で324位であり医師少数区域であり、隣の安房医療圏は、38位である。県は、山武長生夷隅医療圏に対して更にもう一歩踏み込んだ取組を行っていく必要があるのではないか。

(質問)

今後、県としてさらなる医師確保の取り組みが必要と考えるがどうか？

(答弁)

将来にわたり医師確保を図るには地域医療を目指す医師を養成し、確保することが重要であり、来年度から千葉大と連携し、医学部学生の卒前教育から(中面へ続く)



養成・確保に向けた寄付講座を新規事業として立ち上げる。地域病院で臨床実習、研修を行う取り組みで、山武長生夷隅医療圏の病院で実施する予定である。

## 私はこう考えます！

当選以来ずっと訴え続けてきました医師確保の新たな取り組みが、山武長生夷隅医療圏から開始されるとの事で期待したい。



## 県立高校への医療コース設置について

医師の育成・教育の面を考えたときに、生まれ育った地域で将来の医師を育てる土壌を作ることも医師少数地域だからこそ必要であると考えます。

(質問)

県立高校における医療系コースを拡充すべきと考えますがどうか。



(答弁)

現在策定を進めている次期県立高校改革推進プランにおいては、医師など地域で求められる人材の育成に向けたコースの発展拡充を掲げており、今後も地域バランスや連携先の医療機関等を考慮しつつ検討したい。

## 私はこう考えます！

生まれ育った地域に将来貢献できる医師を育てる教育環境を作ることが大事である。医療過疎の地域にこそ設置が望まれる。地域の学力向上にも寄与すると考える。



## 救急医療について

県は救急基幹センター(公立長生病院を含む)の指定をしているが、夜間の救急医療体制に関しては、しっかりとした支援体制と共に実績に対する評価も大切であります。

(質問)

人口減少地域において高度な救急医療を担う医療機関の医師確保に対する県の支援状況はどうか。

(答弁)

県は救命救急センターとして14病院を、救急基幹センターとして5病院を指定している。

これら医療機関は、24時間診療体制を確保することが求められることから、国や県では医師の確保等に要する経費について支援している。

(再質問)

補助金も交付されていることから実績報告は毎年公表すべきと考えますがどうか？

(答弁)

補助の成果となる救急搬送の受け入れ実績等については、透明性を高め、県民に分かりやすい周知に努めてまいります。

(要望)

救急医療体制の実績等は広く県民に情報提供される

ことは重要であり、特に救急基幹センターに指定されている医療機関については、県で救急救命の専門医の配置などの明確な基準を設けるとともに、夜間当直の派遣や必要経費の補助など、積極的に支援していただくことを要望する。

## 私はこう考えます！

運営補助を受けているのであれば実績報告は県民に知らせるべきである。救急基幹センターにおける夜間救急医は救急専門医を配置するように県に支援を要望する。



## 田んぼダムについて

激甚化・頻発化する自然災害の中でその対策の一環として田んぼダムの導入は全国的にも拡大してきています。

(質問)

田んぼダムの取り組み拡大に向け、県はどのように取り組んでいるのか？

(答弁)

実施するには、洪水被害の軽減に効果的な実施場所を選定するとともに、耕作者等の理解が得られる方法で行う必要がある。

効果的な実施場所や農家が取り組みやすい方法のマニュアルを市町村や農業者の共同活動組織に配布したほか、治水対策の会議の場でも先進事例の紹介などを行っている。

## ご当地ナンバーについて

オリンピックレガシーとして、ご当地ナンバーの導入を検討し、外房地域における地域振興、観光振興、スポーツ振興を推進する必要があると考える。

外房地域でのご当地ナンバー設置を図る際には登録台数の要件をクリアするために広域連携を図り



登録することが求められます。

(質問)

オリンピックレガシーとしての外房エリアのご当地ナンバーの導入に関して、県としても支援すべきと思うがどうか？

(答弁)

国による新たな地域名表示の追加募集の際には、地域の各市町村の要望に応じて、表示名としての妥当性や地域における合意形成の状況などについて、導入基準に適合するものとなるよう市町村への助言を行うなどの支援に努めていく。

(要望)

広域連携で設置を目指す場合にはまとめ役として県の積極的な支援をお願いする。

予算委員会においても新事業である地域づくり推進事業を活用した事業の確立を要望した。

## 私はこう考えます！

地域の魅力発信を広域連携で進めることが今後の地域の未来にとって重要であると考えます。

